

企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業

分野	事業名	テーマ
豪雨災害対策	JR肥薩線アクションプラン推進事業	「JR肥薩線復興アクションプラン」の推進
こどもへの支援	未来を担う子どもたちへ贈る「こども図書館」プロジェクト	「こども図書館」プロジェクト
	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭の医療費負担を軽減
	子ども食堂等応援事業	こども食堂支援でこどもたちを笑顔に
	児童健全育成事業	
	放課後児童クラブ利用サポート事業	放課後児童クラブへの支援
	放課後児童クラブ施設整備事業	
	国際バカロレア教育の推進	世界に羽ばたくグローバル人材の育成
	企業との連携による特出した高校魅力化推進事業	企業と連携した県立高校魅力化
	人吉高校五木分校魅力向上プロジェクト	人吉高校五木分校の魅力向上
	県立高校魅力化きらめきプラン	県立高校魅力化きらめきプラン
	県立高校半導体関連人材育成事業	専門学科で学ぶ高校生への支援
	産業教育設備整備費事業	
	こどもの読書活動応援事業	心に残る1冊との出会いをこどもたちへ！
	熊本県子ども人権フェスティバル事業	熊本県人権子ども集会への支援
スポーツ交流	国際バドミントン大会や国際サイクルロードレースによる国内外の交流人口拡大、認知度アップ及びブランド価値の向上プロジェクト	国際スポーツ大会を活用した交流人口拡大
	プロスポーツチームを活用した交流人口拡大及び地域活性化プロジェクト	プロスポーツチームによる地域活性化
文化の保全・継承	県立図書館、くまもと文学・歴史館 貴重資料保存・利活用事業	時代を超えて郷土資料を守り伝える！
農林畜水産業振興	ふるさとの食継承・活用推進事業（くまもと食の名人派遣事業）	ふるさとの食の技を次世代へ
	阿蘇地域世界農業遺産推進事業	「阿蘇地域世界農業遺産」を未来につなぐ
	くまもとあか牛の新たな価値創造事業	未来へつなぐ、くまもとあか牛の生産
食の安全	食品衛生対策強化事業	「食のみやこ熊本県」を支える食の安全を守る
	畜水産食品安全対策事業	畜水産業の輸出拡大を見据えた検査体制の強化
動物愛護	動物愛護推進事業	「人と動物が共生するくまもと」の実現
地域社会共生	地域福祉総合支援事業	誰もが安心して暮らせる“地域の居場所”づくり

企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



豪雨災害対策

○「JR肥薩線復興アクションプラン」の推進

JR肥薩線アクションプラン推進事業

令和2年7月豪雨で被災したJR肥薩線について、国・県・地元12市町村・JR九州で約3年間の協議を重ね、令和7年4月に県・JR九州の間で八代～人吉間における鉄道での復旧について最終合意書を交わすことができました。

今後は、観光を軸とした日本一の地方創生モデルとマイレール意識醸成による日常利用の創出を具体化した「JR肥薩線復興アクションプラン」に掲げる取組みを着実に実施し、令和15年度の再開を目指します！

【アクションプランの取組み例】

○観光利用の促進

- ・自然や文化資源を活かした観光施設・景観の整備
- ・マンガ、アニメ、地域資源と鉄道との連携

○日常利用の促進

- ・生活・交流拠点としての駅の再整備
- ・駅から目的地までを結ぶ二次交通の整備



復興後のイメージ(人吉駅周辺)



子どもへの支援

○ひとり親家庭の医療費負担を軽減

ひとり親家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭等における父又は母及び児童の健康を保持し、生活の安定を支援する目的で、以下の対象者に係る医療費の一部を補助する市町村（熊本市を除く）に対し、県がその費用の1/2を助成する制度です。

- ・ひとり親家庭の父又は母
- ・ひとり親家庭の父又は母が扶養している児童
- ・父母と死別した児童
- ・父母の生死が明らかでない児童
- ・父母から遺棄されている児童

〈医療費負担のイメージ〉



子どもへの支援

○「こども図書館」プロジェクト

未来を担う子どもたちへ贈る「こども図書館」プロジェクト

「こども本の森 熊本」は、建築家の安藤忠雄氏から熊本県に寄贈いただいた施設です。「これからの社会を支えていく子どもたちに、幼い頃から多くの本と出会い、豊かな感性や創造力を育んでもらいたい」「一人でも多くの子どもたちに、読書の楽しさを味わってもらい、みずから考える力を身につけて、熊本から、元気に明日の世界に飛び出して行ってほしい」という思いが込められています。

新たな熊本の宝として末永く県民の皆様に愛される施設にするため、県民参加型で運営することとしています。

令和6年4月8日開館。床から天井まで壁一面本棚で埋め尽くされ、熊本県産木材の格子天井で包まれた空間が特徴です。



自然豊かな水前寺江津湖公園内（県立図書館横）に完成した「こども本の森 熊本」



子どもへの支援

○こども食堂支援で子どもたちを笑顔に

子ども食堂等応援事業

県内各地に設置されているこども食堂の運営をサポートするため、こども食堂の相談窓口となるコーディネーターを配置し、食堂と支援者とのマッチングや運営サポート等を行うなど、こども食堂の自主的な運営体制を支援することで、健全なこどもの育成及び地域全体でこどもを育てていく環境の整備を図ります。

＜こども食堂への各種サポート＞

- ・経験豊富な食堂運営者をアドバイザーとして派遣
- ・こども食堂と支援者とのマッチング
- ・こども食堂への寄附を受け入れる際の運搬支援
- ・こども食堂運営者向け講習会や連携会議の企画・主催
- ・こども食堂に対する各種情報提供



企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



子どもへの支援



子どもへの支援

○放課後児童クラブへの支援

児童健全育成事業
放課後児童クラブ利用サポート事業
放課後児童クラブ施設整備事業

放課後児童クラブは、共働き家庭等の児童の安全・安心な居場所であり、放課後に適切な遊び、生活を与えることで子どもの健全な育成を図るものです。

近年、共働き世帯の増加により、放課後児童クラブのニーズは高まっています。

放課後児童クラブの運営経費、施設を整備するための経費を支援するとともに、利用料が負担となり、児童がクラブ利用を控えることがないよう、放課後児童クラブの利用料を支援することで、子育てしやすい環境づくりを行います。



○世界に羽ばたくグローバル人材の育成

国際バカロレア教育の推進

令和9年度からの県立八代中学校・高等学校における国際バカロレア（IB）教育プログラムの実施に向け、以下の取組みを推進します。

- IB導入のための学習環境整備**
・IB認定には国際バカロレア機構の求める施設・設備を整備する必要があります。
- ②教員等のワークショップ（WS）への参加**
・IB認定を目指すにあたり、学校の教員等はIB認定校を会場として行われるWSと本校で開催するWSに参加します。
- ③IB先進校への教員派遣**
・IB教育の理念に基づいた授業を実施するために、学校の教員は先進校の教員の教え方等を学び、指導力向上を目指します。
- ④IB教育周知に向けた啓発セミナーの実施**
・IB教育を広く県民に周知するために年2回のセミナーを開催します。



セミナーにおけるトークセッション



セミナーにおける小学生の授業体験



子どもへの支援



子どもへの支援

○企業と連携した県立高校魅力化

企業との連携による特出した高校魅力化推進事業

下記の県立高校において、地元企業等と連携した特色ある学科やコース等の開設による高校魅力化を推進します。

- ・高森高校におけるマンガ専門授業の実施
- ・水俣高校における半導体専門授業の実施
- ・天草工業高校におけるCG専門授業の実施
- ・阿蘇中央高校におけるスマート産業専門授業の実施
- ・天草拓心高校におけるSNSマーケティングの実践



天草工業高校CG系列



高森高校マンガ学科



水俣高校半導体情報科

○人吉高校五木分校の魅力向上

人吉高校五木分校魅力向上プロジェクト

東大先端研との連携により、五木村の地域資源と最先端の手法を掛け合わせた五木分校独自の課題解決型の探究学習を行うことで、地元愛を醸成するとともに、五木村やグローバルで活躍できる人材を育成します。

- ①最先端の学びの提供**
・東大先端研を中心とした大学等との連携体制構築
・年間を通じた連携授業の企画、実施、評価、検証
- ②地域社会とつながる学びの実施**
・村、地域の企業、保育園、小中学校等との連携体制構築
・地域課題を題材とした探究活動の企画、実施、評価、検証



企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



子どもへの支援



子どもへの支援

○県立高校魅力化きらめきプラン

県立高等学校（全50校）が、新しい時代に対応した「すべての高校生が夢に挑戦できる県立高校」を実現するため、魅力化に取り組んでいます！

- ・熊本スーパーハイスクール（KSH）構想
すべての県立高校を「熊本スーパーハイスクール（KSH）」とし、特色ある教育活動を行っています。
- ・県立高校 One Team プロジェクト
複数の高校が連携して探究活動等を実施し、教育活動の深化を図っています。
- ・県立高校 学びの祭典
県立高校全50校が一堂に会し、日頃の成果を発表します。
- ・情報発信の取組
パンフレットやHP（県立高校検索ガイド）により情報発信に取り組んでいます。



県立高校「学びの祭典」



高校紹介パンフレット

○専門学科で学ぶ高校生への支援

県立高校半導体関連人材育成事業

県立高校の生徒や教職員の半導体産業に対する理解や興味関心を向上させる事業を実施し、半導体関連産業を中心とする本県産業全体を支える人材を育成します。

①大学企業見学・出前授業・半導体エンジニア等派遣事業
企業連携コーディネーターが見学先や講師の選定や調整を行い、学校の半導体に関する学びを支援

②生徒先端研修・教職員研修
生徒や教職員を対象とした半導体装置や製造工程に関する体験型の研修をととして、半導体に関する興味関心を高める

③半導体理解促進ガイドブック
全県立高校1年へ配付し、高校生の半導体への興味関心を高める

産業教育設備整備費事業

県立高校で工業・農業・商業・水産・家庭・福祉を学ぶ生徒たちが、授業において実験や実習を行う設備を整えます。

DX化など産業界の技術革新に対応できる環境を整え、熊本の未来を担う産業人材の育成を図ります。



子どもへの支援



子どもへの支援

○心に残る1冊との出会いをこどもたちへ！

こどもの読書活動応援事業

すべてのこどもたちが経済的な格差に左右されることなく、本と出会い、夢や可能性を広げる力を育むことができるよう、県立図書館における読書環境を整備し、「こどもまんなか熊本」の実現を図ります。

<主な取組内容>

- ・発達段階に応じた絵本・児童書の充実
- ・親世代に向けた育児ガイドブック等の整備
- ・おはなし会の開催を通じた図書館利用の促進
- ・多文化サービス（外国語絵本、やさしい日本語など）の充実
- ・電子図書館サービスの蔵書拡充と利活用促進
- ・学校における電子書籍の利活用を促進するための連携強化



○熊本県人権子ども集会への支援

熊本県子ども人権フェスティバル事業

熊本県人権子ども集会は、県内の児童生徒が人権について、日頃の取組や思いを発表する集会です。中高生の子ども実行委員会による企画、運営にて実施されています。令和3年度から昨年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、オンデマンドで実施しました。昨年度の視聴回数は約76,000回を超え、熊本市を除く県内全ての公立学校で視聴されました。

令和7年度からは、参集（会場参加）での開催も実施し、その様子をオンデマンドにて配信します。

集会形式日時・会場：令和7年（2025年）10月4日（土）午後1時～午後3時 熊本県立劇場

オンデマンド配信期間：令和7年（2025年）11月中旬～令和8年（2026年）2月

内容：児童生徒による体験・活動報告、集会メッセージ発表等

※学校単位での参加及び視聴となります。

企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要

8 働きがいも経済成長も
17 パートナリシップで目標を達成しよう

スポーツ交流

○国際スポーツ大会を活用した交流人口拡大

国際バドミントン大会や国際サイクルロードレースによる国内外の交流人口拡大、認知度アップ及びブランド価値の向上プロジェクト

国際バドミントン大会「熊本マスターズジャパン」や国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」など国際スポーツ大会を活用した国内外の交流人口拡大、“熊本”の知名度アップ及びブランド価値の向上を推進します。

熊本マスターズジャパンでは、世界ランク上位の選手も多数輩出している本県で、国内外の一流選手が参加する大会を毎年開催することで、熊本の知名度アップ・国内外からの多くの誘客を目指します。

また、ツール・ド・九州では、毎年のレース開催に加え、九州・沖縄・山口各県と連携したサイクリングツーリズムを推進することにより、本県のサイクルツーリズムの推進、交流人口拡大及びインバウンド増による地域活性化を目指します。



8 働きがいも経済成長も
17 パートナリシップで目標を達成しよう

スポーツ交流

○プロスポーツチームによる地域活性化

プロスポーツチームを活用した交流人口拡大及び地域活性化プロジェクト

熊本県と地域活性化連携協定を締結している3つのプロスポーツチーム「ロアッソ熊本(サッカー)」「熊本ヴォルターズ(バスケットボール)」「火の国サラマンダーズ(野球)」の認知度の向上や観戦者数の増加に向けた支援を行います。

これらのチームによる、子ども達を対象としたスポーツ教室や県民招待事業、試合での観光PR等を支援することにより、プロスポーツチームを通じたさらなる地域活性化、交流人口の拡大を目指します。



4 質の高い教育をみんなに

文化の保全・継承

○時代を超えて郷土資料を守り伝える！

県立図書館、くまもと文学・歴史館 貴重資料保存・利活用事業

熊本県立図書館、くまもと文学・歴史館が所蔵する文化的価値の高い、歴史・文学の資料群を後世に伝えていくために、調査・研究を進めることで見出された価値を発信し、熊本の魅力が再発見される活用につなげていきます。

- ① 所蔵資料の調査分析・目録作成**
利活用につなげるため、わかりやすい目録の作成や資料調査を進め、発信に努めます。
- ② 古文書の複製本作成**
利用の多い古文書は複製本を作成し、誰でも自由に閲覧や複写が出来る環境を整えます。
- ③ 貴重資料のレプリカ作成**
夏目漱石作品などのレプリカを作成し、展示や教育普及活動で活用します。
- ④ 資料の修理**
資料の損傷を修理する基本的な技術を習得する研修を継続して実施します。
- ⑤ 災害時の資料救済**
災害時に資料の救済を支援できる資材を整えます。



明治前期絵図(飽田郡全圖)
熊本県立図書館蔵

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう

農林畜産産業振興

○ふるさとの食の技を次世代へ

ふるさとの食継承・活用推進事業(くまもと食の名人派遣事業)

地域の郷土料理に対する理解促進及び地域に根ざした食に関する知識・技術の伝承を目的として、小・中・高等学校等へ「くまもとふるさと食の名人※」等を派遣し、郷土料理や地域の食文化をテーマとした授業等を行います。

※「くまもとふるさと食の名人」とは、熊本県の郷土料理について卓越した知識、技術、経験を有し、伝承活動に取り組んでいる人を熊本県知事が認定するもので、平成13年度から認定を始め、令和7年4月1日現在で、258名が活動しています。

- (活動内容)
- 小・中・高等学校等における郷土料理講座の実施
 - 中・高等学校等における探究学習支援の実施
 - 親子向け郷土料理講座の実施



食の名人による郷土料理講座

企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



農林畜水産業振興



農林畜水産業振興

○「阿蘇地域世界農業遺産」を未来につなぐ

阿蘇地域世界農業遺産推進事業

熊本県阿蘇地域では、1000年以上前から「野焼き」「放牧」「採草」を軸に、草原を活用した農業システムが営まれてきました。この伝統的な農業により、景観や数多くの希少生物の保全につながっていると、平成25年に熊本県阿蘇地域は「世界農業遺産」に認定されました。

本事業では、阿蘇の草原の維持・再生や阿蘇の持つ価値を次世代へ継承することを目的として、世界農業遺産の認知度向上に向けた取組や、草資源を活用した農産物の販売促進等を実施します！



食の安全

○「食のみやこ熊本県」を支える食の安全を守る

食品衛生対策の強化により一層の安全を確保します！！

熊本県では、「食のみやこ熊本県」を支える食の安全・安心の確保に向けて、食品事故防止のための様々な取り組みを行っています。

○営業施設への監視指導や食品検査の実施

県下10か所の保健所による飲食店等の営業施設等への監視指導や食品の収去検査を行い、食中毒発生や違反食品の流通を防止します。



監視指導

○食品衛生の普及啓発や消費者等との意見交換

消費者や食品事業者向けの食品衛生講習会や出前講座などを実施することで、県民への食品衛生思想の普及啓発及び県民とのリスクコミュニケーションを推進します。



食品検査

○未来へつなぐ、くまもとあか牛の生産

くまもとあか牛の新たな価値創造事業

「くまもとあか牛」は、平成30年に地理的表示（GI）保護制度に登録され、赤身の旨味と脂肪の甘みが絶妙なバランスを持つ和牛肉です。近年の赤身志向の高まりも相まって、需要は拡大しています。

一方、和牛といえば、黒毛和種に代表されるサシ（脂肪交雑）の美しさに重きを置いた流通が一般的です。

こうした背景を踏まえ、黒毛和種とは一線を画したあか牛独特の肉質や増体能力等に着目した目標を設定することで、くまもとあか牛の特性を明確に打ち出した生産・販売体制の構築を目指します。

これらの取組みは、くまもとあか牛に唯一無二の新しい価値をもたらすと期待できます。



食の安全

○畜水産業の輸出拡大を見据えた検査体制の強化

稼げる畜水産業を支え、より一層の輸出拡大を見据え、検査体制を強化します！！

熊本県では、「食のみやこ熊本県」の要となる畜水産物の輸出拡大に向けて、施設の監視指導や検査等の取り組みを行っています。

○畜水産物の処理を行う「と畜場」「食鳥処理場」「水産加工施設」等の監視と検査

定期的な施設の監視指導及び細菌検査等の実施 等

○畜水産物の収去検査の実施

肉・魚・牛乳の検査を行い、安全性を確認

○輸出に必要な衛生証明書の発行

荷口検査で相手国の基準に適合しているかを確認し、衛生証明書を発行

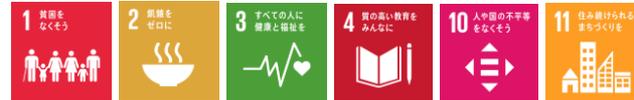


熊本県から全国へ、世界へ

企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



動物愛護



地域社会共生

○「人と動物が共生するくまもと」の実現

動物愛護推進事業

「第3次熊本県動物愛護推進計画」に基づき、動物愛護センター「アニマルフレンズ熊本」を拠点に、以下の取組みの強化・加速化を図ります！

① 飼い主における適正飼養・終生飼養の推進

適正・終生飼養の周知・啓発、マイクロチップ装着の推進等

② 県民に対する動物愛護等の啓発強化

愛護精神の涵養、子どもの頃からいのちの大切さを学ぶ「いのちの教室」の開催、飼い主のいない猫への対応等

③ 保護犬猫の返還・譲渡の推進

休日譲渡会の開催等、譲渡機会の充実・周知、保護動物の人馴れ訓練等

④ 保護犬猫の適正管理の徹底

空調設備がある飼養室での個体管理、各種ワクチン接種や健康管理等



動物愛護センター「猫展示室」



いのちの教室

○誰もが安心して暮らせる“地域の居場所”づくり

地域福祉総合支援事業 「くまもと型地域福祉」の推進

高齢化・孤立が進行する地域社会で、つながり・支え合う力が希薄化しています。

この事業では、地域の誰もが気軽に集い、支え合う**地域の居場所**“地域の縁がわ”を提供する団体（※）を支援し、地域住民が主体となって支え合う**「くまもと型地域福祉」の推進**を図り、多様な福祉サービスが育つきっかけづくりを行っています。

※見守り、会食・配食、買い物支援、健康づくり、学習支援、ICT、防災の取組みなど、多様な活動を実施しています。

地域の居場所“地域の縁がわ”
県内設置数 **606**か所 (R7.4.1時点)



この資料に掲載している事業以外の事業にも御寄附いただけますので、お気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】熊本県企画課 (TEL: 096-333-2019)